

町田市北部丘陵活性化計画アクションプランの 進捗状況（2017年度）について

2017年3月に策定しました町田市北部丘陵活性化計画アクションプランについて、計画の初年度となる2017年度の実施内容を次のとおり報告します。

1 進行管理について

町田市北部丘陵活性化計画アクションプランでは、5つの重点事業を含む15の推進事業を定めています。これらの推進事業は、取組の実施状況と指標の達成状況を、毎年度把握することとしています。また、年2回実施している「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン検討委員会」にて進捗状況を報告しており、いただいた意見を参考に事業を推進しています。

2 進捗状況の概略

15の事業のうち、実施計画の内容以上に進んだものは1事業、計画どおりのものは8事業、計画を下回ったものは6事業でした。

なお、各事業の実施内容については、別紙のとおりです。

■進捗区分別 推進事業一覧（概略）

進捗区分	事業番号・推進事業名
実施計画以上 (1事業)	2. 里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築【重点】 →予定を1年前倒してモデル事業を1地区で実施したため
実施計画どおり (8事業)	3. 「(仮称) 北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の構築【重点】 9. 農業体験事業 10. 市民協働による里山環境の再生・保全 11. 生活道路の整備 12. 新規バスルートの整備、増便 13. 市街化調整区域における土地利用方策の検討 14. 里山の景観を楽しむ散策コースの整備 15. 花のある道づくり
実施計画を下回る (6事業)	1. 新たな交流・回遊拠点の開設【重点】 →拠点開設箇所の決定ができなかったため 4. 幹線道路等の計画・変更等【重点】 →用地取得・整備に着手できなかったため 5. 北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信【重点】 →目標のイベント申込み率を達成できなかったため 6. 農地の改善や農道の整備 →目標の整備面積を達成できなかったため 7. 農業研修事業 →目標の修了者人数を達成できなかったため 8. 農地あっせん事業 →目標のあっせん農地面積を達成できなかったため

町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン 2017年度取組内容

事業番号	事業名称	指標・2020年度目標	2017年度実施計画	取組内容	評価
1	【重点事業】 新たな交流・回遊拠点の開設	開設された交流・回遊拠点の数:2箇所(累計)	・開設箇所の決定 ・開設に向けた検討	・地域住民や活動団体への個別ヒアリング、地区別ワークショップ(ドリームミーティング)での意見交換等を行い、意欲のある個人や団体から意見を聞くことができました。 ・新たな交流・回遊拠点の開設箇所について検討しましたが、決定には至りませんでした。	△
2	【重点事業】 里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積:5,000㎡	・モデル地区の抽出	・活用可能な山林の基礎調査、地域住民・活動団体との意見交換を行い、モデル地区を2箇所抽出しました。 ・そのうち1箇所は2018年度実施予定を前倒して協定を締結し、山林バンクモデル事業を実施しました。	◎
3	【重点事業】 「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の構築	「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	・検討委員会の継続開催 ・小さなプラットフォームの形成	・町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン検討委員会を2回開催し、アクションプランの事業について意見を聞きました。 ・小山田四季彩の森の全体会を開催し、参加した地域住民や市民団体等と意見交換を行いました。 ・地区別ワークショップ(ドリームミーティング)を計6回開催し、地域住民や活動団体の考え等を伺いました。	○
4	【重点事業】 幹線道路等の計画・変更等	市道忠生579号線(I期)及び市道忠生630号線(II期)の整備完了 ※2019年度目標	・用地取得、整備	<忠生579号線(第I期)> ・事業への協力を得ることが出来た地権者の所有地について、用地測量を実施しましたが、用地取得に着手できませんでした。 ・事業への協力を得ることができていない地権者について、協力をお願いをしました。 <忠生630号線(第II期)> ・事業実施に必要な地質調査や設計を行いました。用地取得に向け、測量を実施いたしましたが、用地取得に着手できませんでした。	×
5	【重点事業】 北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信	市主催イベントの申込率:80%	・申込率:70%	・小野路町奈良ばい谷戸や鶴見川源流保水の森、小野路地区の山林において、米づくり体験、タケノコ掘り体験、源流ウォーク、木こり応援隊等、9回のイベントを実施し、個人参加のイベントでは179人、家族参加のイベントでは34家族の参加がありました。 ・事前申込制で募集した8イベントの申込率は64.2%となりました(雨天中止となった1回を含む)。 ・市庁舎のイベントスタジオで、小野路町奈良ばい谷戸の里山環境と、鶴見川源流の生物の展示を年2回行いました。	△
6	農地の改善や農道の整備	整備した農道の総延長:約3,500m 整備した農地の総面積:約3.0ha	・農道:約3,300m(うち2017年度は約200m) ・農地:約1.7ha(うち2017年度は約0.4ha)	・農地あっせん事業を通じて農業者に利用されるよう、整備箇所を選定し直し、農道約124m、農地約0.1haの整備を行いました。 ・整備した農道の総延長は約3,270m、農地の総面積は約1.4haとなりました。	△
7	農業研修事業	農業研修事業修了者数:106人(累計)	・修了者数:76人(うち2017年度は9人)	・2年間のカリキュラムで農業研修を実施し、7期生の7人、8期生の11人を対象に研修を行いました。 ・7期生の7人が研修を修了したため、修了者の累計が74人となりました。	△

※ 評価の目安 ◎:実施計画以上 ○:実施計画どおり △:実施計画を下回る ×:実施計画を大きく下回る

事業番号	事業名称	指標・2020年度目標	2017年度実施計画	取組内容	評価
8	農地あっせん事業	あっせんを行った農地の面積:約15.0ha(累計)	・あっせん農地面積:のべ約14.2ha(うち2017年度は約0.6ha)	・北部丘陵地域の農地について、約0.24haのあっせんを行い、あっせん農地の面積が累計で約13.9haとなりました。 ・北部丘陵地域の農地について、農地パトロール(34カ所約4.17ha)で管理が不十分とされた農地2件約0.34haと、2017年度に農地整備を実施した農地約0.1haを、2018年度のあっせん事業に向けて農地バンクに登録しました。	△
9	農業体験事業	市民農園、体験農園、収穫体験農園の合計数:7園(累計)	・農業者等への働きかけ	・農家開設型市民農園と体験農園の開設案内を農業振興課の窓口に表示するなど、周知を行いました。	○
10	市民協働による里山環境の再生・保全	市民協働による里山環境の再生・保全を実施した事業数:5件(累計)	・新たな場所での取り組みの働きかけ	・小山田四季彩の森で、植栽木周辺の草刈とサツマイモの苗植え・収穫のイベントを実施しました。 ・小野路地区の山林で、地域の農業者と協働した公募イベント「木こり応援隊」を実施しました。 ・新たな場所での取組について、地域で活動する団体と調整を行い、山林バンク事業のモデル地区として2箇所を選出しました。	○
11	生活道路の整備	都道155号線の事業決定	・地元の合意形成に向けた支援 ・整備及び管理計画の策定	・田中谷戸街づくり協議会が進めている測量についての地権者の合意形成について、支援を行いました。 ・道路の整備や、整備後の管理について関係機関と協議し、整備及び管理計画(案)として取りまとめました。	○
12	新規バスルートの整備、増便	バス事業者が新たに自主運行を行った路線数:1ルート	・検証運行(小山田桜台、唐木田間)	・2017年12月18日から、小山田桜台から多摩南部地域病院までの区間で、ワゴン車を使用した検証運行を開始しました。	○
13	市街化調整区域における土地利用方策の検討(地区計画制度等の活用)	市街化調整区域内における地区計画活用の考え方の決定 ※2018年度目標	・地区計画活用の考え方の検討	・市街化調整区域内における地区計画活用の考え方について検討し、「市街化調整区域地区計画運用指針」の骨子案を取りまとめました。	○
14	里山の景観を楽しむ散策コースの整備	新たに整備された散策コースの数:1コース	・新規散策コースの検討	・鶴見川源流域における散策コースの設定や眺望点の整備、地域資源の活用、課題等について検討しました。	○
15	花のある道づくり	整備された箇所数:3箇所	・花のある道づくりの対象地の選定	・花のある道づくりに関心がある地域住民と現地確認を行い、花のある道づくりの候補地を2箇所選出しました。	○

※ 評価の目安 ◎:実施計画以上 ○:実施計画どおり △:実施計画を下回る ×:実施計画を大きく下回る